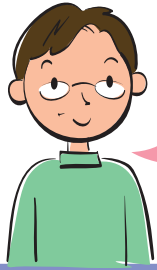


8 川崎市の財政状況は大丈夫なの？



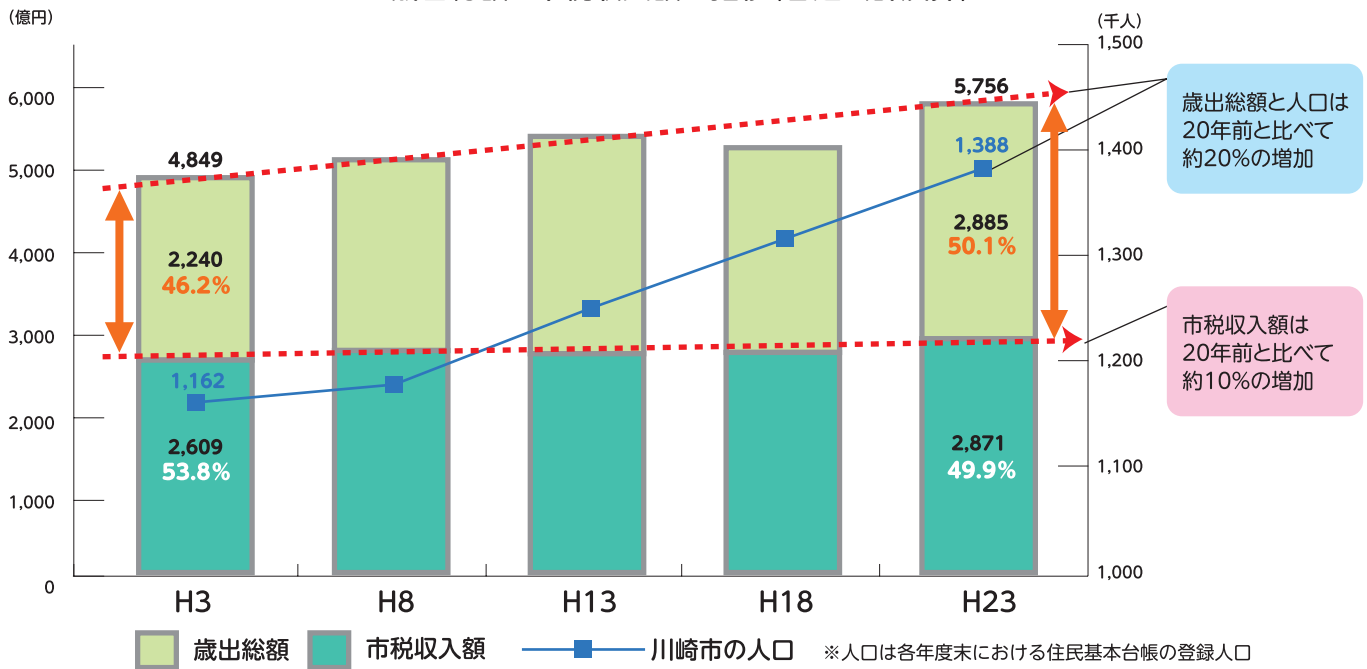
ここまでは予算を見てきましたけど、最近の財政状況はどうなっているんでしょうか？



なるほど、その視点も重要です。はじめに、決算から歳入の中心である市税と歳出の状況を見てみましょう。

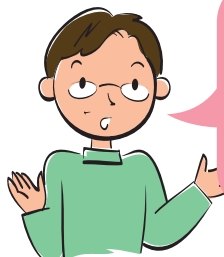
過去のおサイフでのお金の出入り

歳出総額と市税収入額の推移(普通会計決算)



歳出総額と人口は20年前と比べて約20%の増加

市税収入額は20年前と比べて約10%の増加



人口と歳出総額は以前と比べて結構増えているようですが、市税収入はそれほど増えていないんですね。



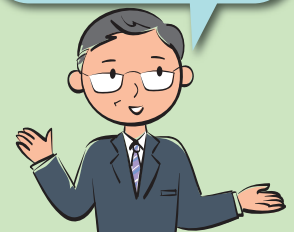
新たな行政需要などに対応するため、歳出は増加してきています。一方で、その財源となる市税収入は、厳しい社会経済状況の影響もあり伸び悩んでいる状況です。

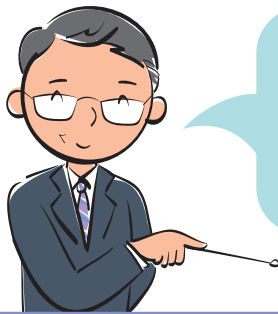
決算って何？



予算を1年間どのように使ったのかの実績を示し確認することを「決算」といい、次年度の9月に市長が市議会に提出し、認定を受けます。また、市では「決算」の内容を分析し、次年度以降の予算執行の指針とします。

他都市との比較のため、「普通会計」という会計区分を使っています。

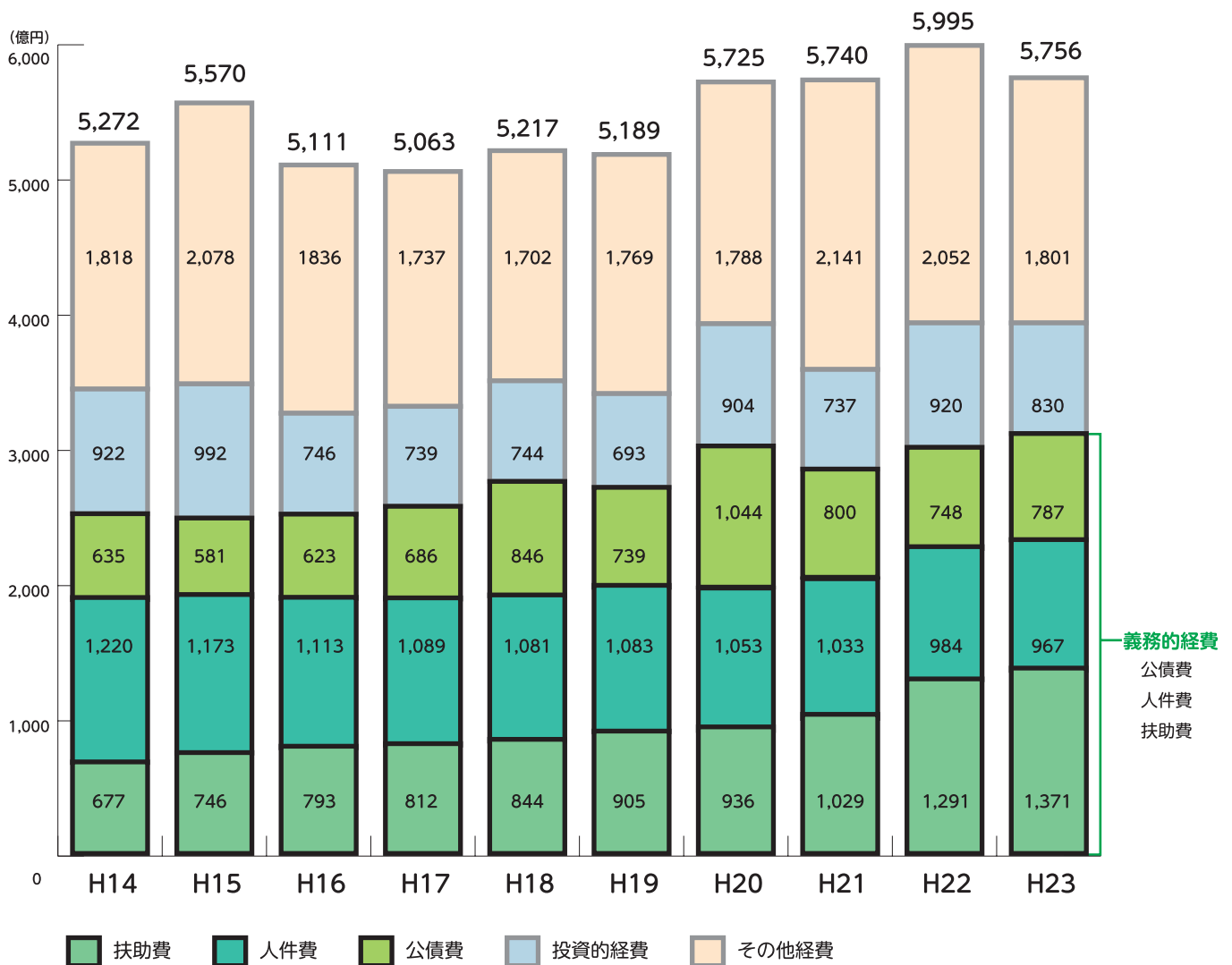




次に、歳出の内訳を見てみましょう。歳出の半分ぐらいを「義務的経費」が占めています。この割合が高くなるほど、それ以外の自由に使えるお金が少なくなります。

過去10年間にオサイフから使ったお金

歳出(性質別)総額の推移(普通会計決算)



義務的経費を見ると、扶助費が年々増加する一方、人件費は減少しているように見えますが？

毎年扶助費が増加している中で、人件費を減らし、義務的経費を抑える努力をしています。義務的経費についてももう少し詳しく見てみましょう。

